

(参考) 追加が決まっている物質 (2016 年 12 月に発効予定)

●ポリ塩化ナフタレン (PCN)

用途	過去にエンジンオイル添加剤や防腐剤等に使用。
分解性	半減期(大気) 4～417日 ^② 半減期(水中) 182日以上、12ヶ月 ^② 半減期(土壌) 57ヶ月 ^②
生物蓄積性	LogKow 4.2～8.5 ^② BCF 2,290～33,884(魚類) ^②
有害性の程度	情報なし
我が国の環境中濃度	
大気	(2014年度調査) 5.4～1,600pg/m ³ (検出下限値:1pg/m ³) ^⑧
水質	(2008年度調査) 不検出～180pg/ℓ(検出下限値:30pg/ℓ) ^⑧
底質	(2008年度調査) 不検出～28,000pg/g-dry(検出下限値:30pg/g-dry) ^⑧
野生生物	(2008年度調査) 魚類 不検出～2,200pg/g-wet(検出下限値:10pg/g-wet) ^⑧ 貝類 11～1,300pg/g-wet(検出下限値:10pg/g-wet) ^⑧ 鳥類 不検出～22pg/g-wet(検出下限値:10pg/g-wet) ^⑧
備考	製造量: 4,000 t (～1976) ^⑨

●ヘキサクロブタジエン (HCBD)

用途	過去に溶媒として使用。
分解性	半減期(大気) 0.3～3.3年 ^② 半減期(水中) 3～30日、30～300日、4週間～6ヶ月、3ヶ月 ^② 半減期(土壌) 4週間～6ヶ月 ^②
生物蓄積性	LogKow 4.78、4.9 ^② BCF 1～19,000(魚類) ^②
有害性の程度	TDI 0.2 μg/kg bw ^②
我が国の環境中濃度	
水質	(2013年度調査) 不検出～43pg/ℓ(検出下限値:37pg/ℓ) ^⑧
底質	(2013年度調査) 不検出～1,600pg/g-dry(検出下限値:3.8pg/g-dry) ^⑧
野生生物	(2013年度調査) 魚類 不検出～59pg/g-wet(検出下限値:3.7pg/g-wet) ^⑧ 貝類 不検出～7.1pg/g-wet(検出下限値:3.7pg/g-wet) ^⑧ 鳥類 不検出(検出下限値:3.7pg/g-wet) ^⑧
備考	輸入量、生産量、使用量については、確かな公表データはない。

●ペンタクロロフェノール (PCP)

(POPs条約では、PCPの塩とエステル類もあわせて対象です。)

用途	過去に農薬等として使用。
分解性	半減期(大気) 12～44時間(PCP)、 9.8日(ペンタクロロアニソール(PCA)) ^② 半減期(水中) 4週間未満 ^② 半減期(土壌) 10週間未満、<13～<144日 ^②
生物蓄積性	LogKow 1.3～5.86 ^② BCF 190～790(PCP、魚類)、0.9～4900(PCP)、 12,000～20,000(PCA、魚類) ^②
有害性の程度	RfD 0.005 mg/kg/day ^②
我が国の環境中濃度	
水質	(2005年度調査) 不検出(検出下限値:10ng/ℓ) ^⑧
備考	PCP塩(Na、Ca) 製造・輸入量: 1 t (2012) ^⑨ 出荷量: 1 t (2012) ^⑨

表中の専門用語については、⑭ページにある用語解説をご覧ください。

分解性や生物蓄積性に記載されている“－”は、POPs条約に関する政府間の交渉会議やPOPs検討委員会における資料において具体的な数値の記載のなかったものであり、()内には国際的な文献やデータベースにおいて示されている数値を記載しています。

